

表3. 過去一年間の仕事中のケガの経験／休業期間／労災認定の有無と雇用形態
雇用形態別・現在の仕事の業種別

業種 (現在の仕事) 上段: 非正規雇用 労働者 下段: 正規雇用労働者	過去1年間の仕事中のケガの経験									
	そのケガを原因とする休業					それらのケガが労災として認定されたことがあるか				
	総数	総数	4日以上休業した ことがある	1~3日休業した ことがある	休業した ことはない	ある	ない	わからない	ない	ない
農林漁業	4 (100.0)	0 (0.0)	0	0	0	0	0	0	0	4 (100.0)
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	1 (100.0)	0 (0.0)	0	0	0	0	0	0	0	1 (100.0)
製造業	1 (100.0)	0 (0.0)	0	0	0	0	0	0	0	1 (100.0)
電気・ガス 熱供給・水道業	31 (100.0)	6 (19.4)	1 (16.7)	1 (16.7)	4 (66.7)	1 (16.7)	5 (83.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	25 (80.6)
建設業	80 (100.0)	23 (28.8)	3 (13.0)	1 (4.3)	19 (82.6)	0 (0.0)	23 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	57 (71.3)
製造業	116 (100.0)	41 (35.3)	4 (9.8)	8 (19.5)	29 (70.7)	5 (12.2)	35 (85.4)	1 (2.4)	0 (0.0)	75 (64.7)
311 (100.0)	88 (28.3)	10 (11.4)	12 (13.6)	66 (75.0)	12 (13.6)	74 (84.1)	2 (2.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	223 (71.7)
電気・ガス 熱供給・水道業	11 (100.0)	1 (9.1)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (90.9)
15 (100.0)	7 (46.7)	1 (14.3)	2 (28.6)	4 (57.1)	2 (28.6)	5 (71.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (53.3)
44 (100.0)	14 (31.8)	1 (7.1)	1 (7.1)	12 (85.7)	0 (0.0)	11 (78.6)	3 (21.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	30 (68.2)
82 (100.0)	21 (25.6)	3 (14.3)	2 (9.5)	16 (76.2)	2 (9.5)	18 (85.7)	1 (4.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	61 (74.4)
54 (100.0)	16 (29.6)	3 (18.8)	1 (6.3)	12 (75.0)	3 (18.8)	13 (81.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	38 (70.4)
63 (100.0)	20 (31.7)	3 (15.0)	4 (20.0)	13 (65.0)	2 (10.0)	17 (85.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	43 (68.3)
191 (100.0)	59 (30.9)	5 (8.5)	7 (11.9)	47 (79.7)	1 (1.7)	54 (91.5)	4 (6.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	132 (69.1)
107 (100.0)	32 (29.9)	6 (18.8)	4 (12.5)	22 (68.8)	0 (0.0)	29 (90.6)	3 (9.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	75 (70.1)
68 (100.0)	8 (11.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (87.5)	0 (0.0)	8 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	60 (88.2)
52 (100.0)	6 (11.5)	3 (50.0)	0 (0.0)	3 (50.0)	0 (0.0)	6 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	46 (88.5)
9 (100.0)	3 (33.3)	1 (33.3)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (0.0)	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (66.7)
16 (100.0)	2 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (87.5)
13 (100.0)	5 (38.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (100.0)	1 (20.0)	4 (80.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (61.5)
25 (100.0)	9 (36.0)	1 (11.1)	1 (11.1)	7 (77.8)	0 (0.0)	9 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (64.0)
81 (100.0)	32 (39.5)	2 (6.3)	1 (3.1)	29 (90.6)	1 (3.1)	31 (96.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	49 (60.5)
19 (100.0)	8 (42.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (87.5)	0 (0.0)	8 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (57.9)
166 (100.0)	41 (24.7)	3 (7.3)	8 (19.5)	30 (73.2)	7 (17.1)	32 (78.0)	2 (4.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	125 (75.3)
116 (100.0)	33 (28.4)	1 (3.0)	6 (18.2)	26 (78.8)	4 (12.1)	29 (87.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	83 (71.6)
52 (100.0)	13 (25.0)	2 (15.4)	0 (0.0)	11 (84.6)	1 (7.7)	12 (92.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	39 (75.0)
17 (100.0)	4 (23.5)	1 (25.0)	0 (0.0)	3 (75.0)	0 (0.0)	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	13 (76.5)
85 (100.0)	17 (20.0)	2 (11.8)	3 (17.6)	12 (70.6)	0 (0.0)	16 (94.1)	1 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	68 (80.0)
40 (100.0)	12 (30.0)	3 (25.0)	2 (16.7)	7 (56.3)	0 (0.0)	11 (91.7)	1 (8.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	28 (70.0)
18 (100.0)	4 (22.2)	0 (0.0)	1 (25.0)	3 (75.0)	1 (25.0)	3 (75.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (77.8)
5 (100.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (80.0)
70 (100.0)	15 (21.4)	0 (0.0)	3 (20.0)	12 (80.0)	1 (6.7)	13 (86.7)	1 (6.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	55 (78.6)
57 (100.0)	17 (29.8)	4 (23.5)	2 (11.8)	11 (64.7)	2 (11.8)	15 (86.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	40 (70.2)

表4. 現在の雇用形態別、過去一年間の仕事中的ケガによる後遺症の有無

現在の雇用形態	過去1年間仕事中にケガをしたことがある(再掲)					
	総数	過去1年間の仕事中的ケガが労災として認められたことがある(再掲)	過去一年間の仕事中的ケガによる後遺症の有無			
			総数	ある	ない	わからない
非正規雇用労働者(派遣社員、契約社員ほか)	1014 (100.0)	275 (27.1)	22 (8.0)	7 (31.8)	11 (50.0)	4 (18.2)
正規雇用労働者(正社員)ただし管理職を除く	1006 (100.0)	283 (28.1)	24 (8.5)	4 (16.7)	17 (70.8)	3 (12.5)

表5. 過去1年間で労災として認められた事例の詳細

ケガをした時の雇用形態	業種	職種	ケガによる休業	ケガの内容	ケガの原因
正社員	建設業	施工管理員(現場技術業務)	休業したことはない	火傷	社用車修理中
	製造業	製品の分析検査	休業したことはない	目に薬品が入って、炎症がおきた。	薬品を詰め替える作業中に薬品がはねた。
	製造業	セラミックス技術者	休業したことはない	人差し指骨折	ボール盤巻き込まれ
	製造業	水素ガス製造・販売	休業したことはない	左足指2本骨折	水素ボンベ(バラ瓶)の移動中に滑って転んでボンベを足にぶつけた。
	製造業	ネジ製造	4日以上休業	左足の打撲	材料と機械の間に挟まれた
	製造業	倉庫作業員	1~3日休業	左前腕部の挫創	鋼材に腕をぶつけた
	製造業	機械部品製造	1~3日休業	左親指の離断型	機械内部の部品交換作業中
	製造業	印刷オペレーター	休業したことはない	左手の人差し指の切り傷	玉がけフックが顔面に強打
	製造業	機械部品製造	1~3日休業	顔面強打、前歯骨折	真空包装機の清掃中
	製造業	自動車部品製造管理	4日以上休業	右手中指切創	機械に指を挟んだ
	製造業	自動車製造	4日以上休業	右手中指伸筋腱損傷	荷物の整理中
	製造業	食品製造	1~3日休業	ヘルニア	台車にはさまれて
	製造業	製造	休業したことはない	フトモロの筋断裂	カッターナイフで切創
	電気・ガス・熱供給・水道業	電気工事	1~3日休業	右手親指の先端の肉を切創	電気工事
	電気・ガス・熱供給・水道業	事務職	4日以上休業	右手をやけどした	仕事重、人間関係
	情報通信業	システムエンジニア	4日以上休業	鬱	営業先から帰社する途中
	運輸・郵便業	営業職	休業したことはない	右頬、右手の打撲	物が倒れて
	運輸・郵便業	事務職	休業したことはない	打撲	足ふみはずし
	運輸・郵便業	倉庫業	1~3日休業	初帯漏傷	軽作業中
	運輸・郵便業	事務職	4日以上休業	骨折	整備
上記以外のサービス業	人事	1~3日休業	腰痛	荷物運搬	
上記以外のサービス業	ITサービスの事務	休業したことはない	駅で転んで捻挫	雨で滑りやすかった	
上記以外のサービス業	博物館の案内係	休業したことはない	ポリープ	不明	
上記以外のサービス業	制作	1~3日休業	ざっくり腫	机を移動中	
その他	危機管理	1~3日休業	重度の結膜炎	非難誘導	
その他	営業	休業したことはない	腰痛	運転しすぎ	
派遣・契約社員	製造業	液晶パネル製造	1~3日休業	鼻骨骨折	加圧タンクのふたと接触
	製造業	事務	1~3日休業	左手小指脱臼	自転車事故
	製造業	プラスチックフィルム製造	1~3日休業	右手裂傷	プラスチックフィルム裁断
	製造業	鋳物製造	4日以上休業	右手の平 打撲	クレーン操作中
	運輸・郵便業	倉庫内作業	4日以上休業	左手中指骨折	倉庫内での出荷作業中
	上記以外のサービス業	倉庫要員	1~3日休業	指挫内出血	台車が動いた
	上記以外のサービス業	運転、雑用	休業したことはない	指の切り傷	刃物で切った。
	上記以外のサービス業	警備	休業したことはない	骨折	巡回中
	製造業	化粧箱の製造	休業したことはない	指をはさんだ	レバーに指をはさんだ
	製造業	配達業	4日以上休業	右膝の骨折	食料品の補充作業中
パート・アルバイト フリーター	卸売・小売業	スーパーの食品調理	休業したことはない	右手切り傷	調理中
	学術研究・専門・技術サービス業	美容師	休業したことはない	腰痛	慢性的
	宿泊・飲食サービス業	飲食店店員	4日以上休業	左足のやけど	ずん胴に沸かしたお茶を運んでいて
	上記以外のサービス業	テーマパークの調理担当	休業したことはない	目の中にオーブンクリナーが入った	スチームオーブンを清掃中
	上記以外のサービス業	イベント関係	4日以上休業	背中を骨折	転んでしまったこと
	上記以外のサービス業	事務職	1~3日休業	足の甲を骨折	外先で階段を降りていて
	教育・学習支援業	事務職	4日以上休業	右手親指切傷	調理中包丁で。
	公務	学童保育	1~3日休業	大脳部腫瘍	隣書尻がバニックを起こし、木をも強く噛まれた
	その他	パチンコ店の清掃	休業したことはない	パチンコ台が拭いているときに落ちてきて肩を強打	パチンコ台を清掃中

表6. 現在の雇用形態別、仕事の原因で病気になる経験の有無／その判断の根拠

現在の雇用形態	総数	これまで仕事の原因で病気になる経験があるか				わからない	
		ある					
		自分がそう思った	医師から仕事の原因と診断された	労災となった	わからない		
非正規雇用労働者(派遣社員、契約社員ほか)	1014 (100.0)	141 (19.8)	84 (41.8)	15 (7.5)	8 (4.0)	678 (66.9)	135 (13.3)
派遣社員・契約社員	304 (100.0)	50 (21.7)	23 (34.8)	6 (9.1)	2 (3.0)	202 (66.4)	36 (11.8)
パート・アルバイト フリーター	710 (100.0)	135 (19.0)	61 (45.2)	9 (6.7)	6 (4.4)	476 (67.0)	99 (13.9)
正規雇用労働者(正社員) ただし管理職を除く	1006 (100.0)	178 (17.7)	77 (43.3)	8 (4.5)	4 (2.2)	721 (71.7)	107 (10.6)

表7. 現在の雇用形態別、仕事が原因と考えられる病気とその労災認定件数

疾患	非正規雇用労働者 (派遣社員、契約社員ほか)				正規雇用労働者 (正社員ただし管理職を除く)			
	総数 ^{注1)}	労災認定件数 ^{注2)}	派遣・契約社員		パート・アルバイト・フリーター		総数 ^{注1)}	労災認定件数 ^{注2)}
			総数 ^{注1)}	労災認定件数 ^{注2)}	総数 ^{注1)}	労災認定件数 ^{注2)}		
全疾患	257 (100.0)	22 (8.6)	89 (100.0)	8 (9.0)	168 (100.0)	14 (8.3)	226 (100.0)	15 (6.6)
精神疾患	80 (31.1)	5 (6.3)	33 (37.1)	1 (3.0)	47 (28.0)	4 (8.5)	81 (35.8)	3 (3.7)
脳心疾患	3 (1.2)	0 (0.0)	2 (2.2)	0 (0.0)	1 (0.6)	0 (0.0)	1 (0.4)	0 (0.0)
筋骨格系疾患	59 (23.0)	4 (6.8)	16 (18.0)	1 (6.3)	43 (25.6)	3 (7.0)	40 (17.7)	5 (12.5)
がん	2 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 -	2 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 -
呼吸器疾患 (肺がんを除く)	2 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 -	2 (1.2)	0 (0.0)	2 (0.9)	0 (0.0)
騒音性難聴	2 (0.8)	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	1 (0.6)	0 (0.0)	2 (0.9)	0 (0.0)
熱中症	6 (2.3)	1 (16.7)	1 (1.1)	1 (100.0)	5 (3.0)	0 (0.0)	11 (4.9)	1 (9.1)
皮膚炎	25 (9.7)	1 (4.0)	11 (12.4)	0 (0.0)	14 (8.3)	1 (7.1)	24 (10.6)	1 (4.2)
感染症	3 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 -	3 (1.8)	0 (0.0)	11 (4.9)	0 (0.0)
化学物質中毒	1 (0.4)	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 -	2 (0.9)	0 (0.0)
その他	74 (28.8)	11 (14.9)	24 (27.0)	5 (20.8)	50 (29.8)	6 (12.0)	52 (23.0)	5 (9.6)

注1) 総数は複数回答の件数。カッコ内は回答のあった疾患の全件数に対する割合を示す。

注2) 労災認定件数も複数回答。ただし、複数の疾患で認定を受けている例はなく、実質的に労災認定を受けた人数に等しい。カッコ内は疾患ごとの労災認定の割合を示す。

表8. 現在の雇用形態別、病気やケガが原因で仕事を辞めたり替えたりしたことがあるか

現在の雇用形態	総数	病気やケガが原因で、仕事を辞めたり 替えたりしたことがあるか		オッズ比 (95%信頼区間)
		ある	ない	
正規雇用労働者(正社員)ただし管理職を除く	1006 (100.0)	78 (7.8)	928 (92.2)	1.0
非正規雇用労働者(派遣社員、契約社員ほか)	1014 (100.0)	203 (20.0)	811 (80.0)	3.0(2.3 - 3.9)
派遣・契約社員	304 (100.0)	73 (24.0)	231 (76.0)	3.8(2.6 - 5.3)
パート・アルバイト フリーター	710 (100.0)	130 (18.3)	580 (81.7)	2.7(2.0 - 3.6)

表9. 現在の職場の労働条件・作業環境の改善すべき点

改善点	非正規雇用労働者 (派遣社員、契約社員ほか) (N=1014)				正規雇用労働者 (正社員) ただし管理職を除く (N=1006)									
	複数回答		派遣・契約社員 (N=304)		パート・アルバイト・フリーター (N=710)		複数回答							
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合						
仕事の負担が大きすぎる	161	(15.9)	60	(19.7)	38	(12.5)	101	(14.2)	78	(11.0)	235	(23.4)	128	(12.7)
労働時間が長すぎる	82	(8.1)	41	(13.5)	22	(7.2)	41	(5.8)	20	(2.8)	246	(24.5)	158	(15.7)
仕事が単調だ	125	(12.3)	49	(16.1)	34	(11.2)	76	(10.7)	50	(7.0)	111	(11.0)	71	(7.1)
嫌がらせ (ハラスメント) が多い	81	(8.0)	33	(10.9)	21	(6.9)	48	(6.8)	33	(4.6)	89	(8.8)	63	(6.3)
不自然な姿勢での作業、繰り返し作業が多い	98	(9.7)	27	(8.9)	12	(3.9)	71	(10.0)	35	(4.9)	76	(7.6)	34	(3.4)
重量物 (人を含む) を機械の補助などなしに扱う	31	(3.1)	12	(3.9)	3	(1.0)	19	(2.7)	8	(1.1)	53	(5.3)	15	(1.5)
強い光 (紫外線・赤外線を含む) や音 (騒音) に対する対策が不十分だ	14	(1.4)	7	(2.3)	3	(1.0)	7	(1.0)	3	(0.4)	19	(1.9)	4	(0.4)
危険な機械を安全に使うための対策が不十分だ	12	(1.2)	6	(2.0)	2	(0.7)	6	(0.8)	1	(0.1)	29	(2.9)	5	(0.5)
有害な化学物質を安全に扱うための対策が不十分だ	10	(1.0)	6	(2.0)	2	(0.7)	4	(0.6)	0	(0.0)	29	(2.9)	12	(1.2)
ほこり (粉じん) に対する対策が不十分だ	41	(4.0)	13	(4.3)	5	(1.6)	28	(3.9)	11	(1.5)	71	(7.1)	28	(2.8)
ヘルメット、マスク、手袋などの保護具が支給されていない	24	(2.4)	5	(1.6)	0	(0.0)	19	(2.7)	8	(1.1)	18	(1.8)	3	(0.3)
仕事に伴う危険について、事前の教育が不十分だ	52	(5.1)	16	(5.3)	4	(1.3)	36	(5.1)	13	(1.8)	63	(6.3)	16	(1.6)
その他	111	(10.9)	40	(13.2)	36	(11.8)	71	(10.0)	65	(9.2)	66	(6.6)	58	(5.8)
ない	507	(50.0)	122	(40.1)	122	(40.1)	385	(54.2)	385	(54.2)	411	(40.9)	411	(40.9)

表10. 現在の雇用形態別、労働時間、残業時間、通勤時間の比較

労働時間／残業時間／通勤時間	非正規雇用労働者（派遣社員、契約社員ほか） (N=1014)			パート・アルバイト フリーター (N=710)			正規雇用労働者（正社員） ただし管理職を除く (N=1006)		
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値
過去1年間、1か月当たりの労働時間のおおよその平均	109.2	(57.7)	145.1	(58.6)	93.8	(50.1)	165.0	(64.2)	
その内の残業のおおよその平均	5.4	(12.9)	10.7	(18.5)	3.2	(8.7)	20.4	(26.6)	
過去1年間、一か月あたり通勤時間のおおよその平均	28.7	(25.6)	38.0	(21.5)	24.7	(26.2)	39.6	(29.4)	

表11. 現在の雇用形態別、現在の健康状態／将来の自分の健康状態に対する不安^{注)}

	非正規雇用労働者(派遣社員、契約社員ほか) (N=1014)		正規雇用労働者(正社員)ただし管理職を除く (N=1006)		回答数(割合)
	派遣・契約社員 (N=304)	パート・アルバイト フリーター (N=710)	派遣・契約社員 (N=304)	パート・アルバイト フリーター (N=710)	
非常に健康である	94 (9.3)	69 (9.7)	25 (8.2)	66 (8.5)	
まあ健康である	559 (55.1)	392 (55.2)	167 (54.9)	514 (51.1)	
現在の健康状態 健康であるとも不調であるともいえない	222 (21.9)	155 (21.8)	67 (22.0)	242 (24.1)	
やや不調である	115 (11.3)	77 (10.8)	38 (12.5)	133 (13.2)	
非常に不調である	24 (2.4)	17 (2.4)	7 (2.3)	31 (3.1)	
不安を持っている	212 (20.9)	146 (20.6)	66 (21.7)	224 (22.3)	
将来の自分の健康状態に 少し不安を持っているか	639 (63.0)	442 (62.3)	197 (64.8)	614 (61.0)	
不安は持っていない	163 (16.1)	122 (17.2)	41 (13.5)	168 (16.7)	

注) 非正規雇用労働者(派遣・契約社員/パート・アルバイト・フリーター)と正規雇用労働者との間で、現在の健康状態、将来の健康に対する不安ともに、その分布に統計学的有意差は認められなかった(χ^2 検定)

労働災害・職業病に関するアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

長引く不況の中で労働条件・労働環境は、働く人々にとってますます厳しいものとなってきています。こうした状況下では、仕事によって生じる事故や病気(労災・職業病)の増加が懸念されますが、非正規労働の増加などによって雇用が多様化してくると、その実態の把握も困難になってきます。

この調査は、雇用の在り方、つまり正規、非正規、派遣、請負、パート、アルバイトと言った働き方の違いが、労災や職業病の発生にどのように関連するか、アンケートによって明らかにすることを目的とします。

回答に必要な時間は、過去の労災・職業病の経験によっても異なりますが、おおよそ20分程度です。アンケートの趣旨をご理解の上、ご協力いただけますよう、お願いいたします。

ご協力いただける場合は「開始」ボタンを押し、回答を開始してください。

開始

※このアンケートは、前のページに戻る事ができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

仕事についてうかがいます。

Q1 現在の仕事の業種は次のどれですか。あてはまるものを1つお選びください。

(回答は1つ)

- 農林漁業
- 鉱業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸・郵便業
- 卸売・小売業
- 金融・保険業
- 不動産・物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊・飲食サービス業
- 上記以外のサービス業
- 教育・学習支援業
- 医療・福祉
- 公務
- その他

具体的な：

Q2 現在の仕事はどのような内容(職種)ですか。

(回答は具体的に)

例:トラック運転手、飲食店店員、スーパーのレジ係、事務職、営業職、機械部品製造等

Q3 現在の勤務先で働き始めてどのくらいですか。

(回答は半角数字で入力)

※1年ちようどの場合は「1」年「0」か月、半年の場合は「0」年「6」か月と入力してください。

年 か月

次のページ

0% 100%

※ このアンケートは、前のページに戻る事ができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

これまでの仕事についてうかがいます。

Q4 これまでの転職の回数をうかがいます。あてはまるものを1つだけお選びください。

(回答は1つ)

- 1回
- 2回
- 3回
- 4回以上
- なし

次のページ

※このアンケートは、前のページに戻る事ができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q5 最も短かった仕事はどのような内容(職種)でしたか。

(回答は具体的に)

例:トラック運転手、飲食店店員、スーパーのレジ係、事務職、営業職、機械部品製造等

Q6 その仕事に従事された期間についてお答えください。

(回答は半角数字で入力)

※1年ちよどの場合は「1」年「0」か月、半年の場合は「0」年「6」か月と入力してください。

※現在の仕事も含めてお答えください。

※最も短かった仕事と長かった仕事の期間が同じ場合は、同じ期間をお答えください。

年 か月

Q7 最も長かった仕事はどのような内容(職種)でしたか。

(回答は具体的に)

例:トラック運転手、飲食店店員、スーパーのレジ係、事務職、営業職、機械部品製造等

Q8 その仕事に従事された期間についてお答えください。

(回答は半角数字で入力)

※1年ちよどの場合は「1」年「0」か月、半年の場合は「0」年「6」か月と入力してください。

※現在の仕事も含めてお答えください。

※最も短かった仕事と長かった仕事の期間が同じ場合は、同じ期間をお答えください。

年 か月

Q9 最初の仕事に就いた年齢についてお答えください。

(回答は半角数字で入力)

歳

0% 100%

※ このアンケートは、前のページに戻る事ができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

労働災害についてうかがいます。

Q10

過去1年間に仕事中にケガをしたことがありますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

(回答は1つ)

(注1) 急な腰痛はケガとして答えてください。

(注2) 植数のある場合は、最も重症だったケガについてお答えください。

(注3) 通勤途上災害については対象としません。

- そのケガが原因で4日以上休業したことがある
- そのケガが原因で1～3日休業したことがある
- そのケガが原因で休業したことはない
- ない

次のページ

0% 100%

※ このアンケートは、前のページに戻る事ができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

過去1年間に仕事中にケガをしたことがあるとお答えの方にうかがいます。

Q11

ケガを経験された時の雇用形態をうかがいます。あてはまるものすべてをお選びください。

(回答はいくつでも)

- 正社員だった
- 派遣・契約社員だった
- パート・アルバイト・フリーターだった
- その他 具体的に:

Q12

過去1年間の仕事中のケガが労災として認定されたことはありますか。あてはまるもの一つだけお選びください。

(回答は1つ)

- ある
- ない
- わからない

次のページ

※このアンケートは、前のページに戻る事ができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q13 過去1年間で労災となったケガはどのようなケガでしたか。

(回答は具体的に)

(注1)複数経験がある場合は、あなたが最も重症だったと思われるケガについてお答えください。
(注2)身体の数箇所の複数箇所にケガをした場合には、覚えている範囲で記入してください。

例：右手小指を切断、右手薬指の切り傷、腰痛(ヘルニア)、左太ももの火傷等

Q14 過去1年間で労災となったケガの原因(仕事)はどのようなことでしたか。

(回答は具体的に)

例：野菜カッターの掃除中、宅急便荷物の運搬中、ポイラーに左足が接触して

Q15 過去1年間で労災となったケガによる後遺症はありますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

(回答は1つ)

- ある
- ない
- わからない

次のページ

0% 100%

※ このアンケートは、前のページに戻る事ができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

職業病についてうかがいます。

Q16 これまでに仕事が原因で病気になることがありますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

(回答は1つ)

- ある
- ない
- わからない

次のページ

※このアンケートは、前のページに戻ることはできません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q17 その判断の根拠についてあてはまるものをすべてお選びください。

(回答はいくつでも)

(注)複数の病気の経験があり、その判断の根拠が異なる場合には、該当する選択肢を全て選んでください。

- 自分でそう思った
- 医師から仕事の原因と診断された
- 労災となった
- その他 具体的に:

次のページ

※ このアンケートは、前のページに戻る事ができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q16で仕事の原因で病気になったことがあるとお答えの方にうかがいます。

Q18 それはどのような病気でしたか。治療したもの、治療中のものなども含め、仕事の原因と考えられる病気が複数ある場合は、以下の選択肢の中から該当するものをすべて選び「経験した病気」欄にチェックをしてください。
また、それらの内、実際に労災として認定された病気については「労災として認定された病気」の欄にチェックを入れてください。

(回答は横の行ごとにくつでも)

	こころの病気 へうつ病・適応障害など▽	脳・心臓の病気 へ脳卒中・狭心症・心筋梗塞など▽	筋肉や骨・関節の病気 へ腰痛・頸肩腕障害など▽	がん 肺がん以外の肺の病気 へじん肺・ぜんそくなど▽	騒音性難聴	熱中症	皮膚炎 へアレルギーによるものなど▽	感染症 へ肝炎や結核など ウイルス・細菌感染が原因となる病気▽	化学物質 へ溶剤など▽ による急性・慢性の中毒	左記以外 ※具体的にお答えください	ひとつもない
経験した病気	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
労災として認定された病気	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

次のページ

0% 100%

※このアンケートは、前のページに戻ることはできません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q19

病气やケガが原因で、仕事を辞めたり替えたりしたことがありますか。あてはまるものをお選びください。

(回答は1つ)

- ある
- ない

次のページ